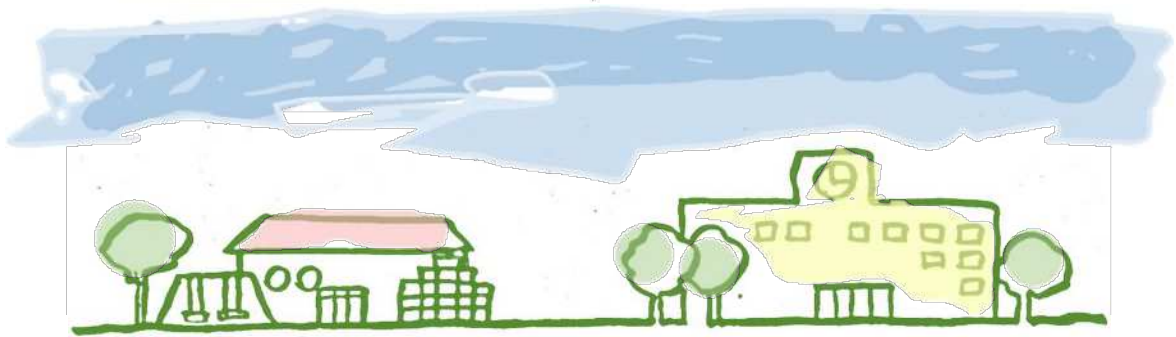


川越市ときも学びのプロセス

～幼保小 子どもの育ちと学びをつなぐ～

志を高くもち、自ら学び考え、行動する子どもの育成



安心

幼児教育の考え方を
取り入れることで、
子どもに安心が生まれます

「園は楽しかったな。小学校も楽しいといいな。」
「小学校ってどんなところかな。」
「友達できるかな。」
「小学校も楽しいところでよかったな。」

成長

幼児期の経験を
小学校の学習につなぐと、
子どもが自信をもって
成長していけます

「園では色々なことをしてきたよ。
小学校でもできるといいな。」
「早く知りたいな。」
「やってみたいな。」
「小学校ではもっとこんなこともできるようになったよ。」

自立

見通しをもって
子どもをみつめると、
子どもの自立につながります

「園ではこんなことをできるようになったんだよ。」
「小学生はすごいな。」
「あんなふうになりたいな。」
「自分は、こうやってみよう。」

子どもたちは、**安心**した環境のなかで、すくすくと**成長**し、**自立**していきます

川越市教育委員会



子どもの発達や学びは、幼児期から児童期を通じて連続し、さらに将来にもつながっていきます。

一人ひとりの子どもの発達や学びを、切れ目のないようにつなぎ、次の段階で一層発展できる教育・保育を目指すために「ときも学びのプロセス」を活用していきましょう。

幼稚園・保育園・小学校・保護者がつながり、子ども一人ひとりの安心を大切にします。



【就学前】
遊びを通して学ぶ

【就学前】
アプローチカリキュラム

【小学校】
スタートカリキュラム

【小学校】
教科等の学習を中心に学ぶ

＜架け橋期カリキュラム＞

幼児期（学びの芽生えの時期から自覚的な学びへ）

児童期（自覚的な学びの時期）

■子どもの育ちや学びの見通しをもつために「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有しましょう。

- (1)健康な心と体 (2)自立心 (3)協同性 (4)道徳性・規範意識の芽生え (5)社会生活との関わり (6)思考力の芽生え
(7)自然との関わり・生命尊重 (8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9)言葉による伝え合い (10)豊かな感性と表現

遊んだ後に手を洗いました。これは、(1)と(2)の姿につながりますが、水道前で並んだり、自分より幼い子を手伝ったりする活動によって、(5)の姿にもなっています。小学校入学後は、この姿を土台として、「健康的な生活習慣」や「学校や集団生活への安心感」、「よりよい人間関係の形成」につなげていきます。ごっこ遊びをしました。これは、(9)・(10)の姿につながりますが、花や動物の役になりきったり、登場人物に共感して表現を工夫したりする活動によって、(7)や(6)の姿にもつながっています。この姿は、小学校入学後に「命への畏敬の念」や、「自分の伝えたいことを表現する力」や「豊かな情操や心」を育てる土台となっています。紙粘土で制作をしました。作品を作る活動によって(6)や(8)の姿につながっていることがわかりますが、友だちと見せ合ったり意見を言い合ったりすることで(3)の姿となり、道具の正しい扱い方やルールを守る指示を理解して進めることで(4)の姿にもつながります。また、自らのイメージを表現することで(10)の姿にもなっています。小学校入学後は、「好奇心や探究する姿勢」「表したいという思いを基に工夫して表現する力」「豊かな情操や心」につながっていきます。 ※詳細は裏面参照

視点	0～1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学1年生
健康な生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な環境で心地よさを感じる。 正しい生活リズムを整えながら過ごす。 遊びや生活の中で体を動かす。 食品や調理形態に慣れ、食への意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に過ごせるようになる。 身の回りのことを自分でしようとする。 健康な生活リズムを身に付け始める。 楽しんで食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付ける。 身の回りのことや生活に必要なことを自分でしようとする。 食品に興味をもち、食事を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に興味をもち、基本的な生活習慣を身に付ける。 身の回りや生活に必要なことがわかり、見通しをもって行動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に興味をもち基本的な生活習慣を身に付け、見通しをもって行動する。 食事を楽しみながら身体と食べ物との関係を知る。 	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	<ul style="list-style-type: none"> 健康への興味・関心 健康的な生活習慣 学校生活への意欲 食への感謝 命への畏敬の念
他者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 安心感をもって過ごし、穏やかな生活を経験する。 人と触れ合う心地よさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心感のある生活の中で、信頼関係を築く。 自分の気持ちを安心して表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な活動を援助されながら、探索意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と認め合える信頼関係を築く。 様々な経験を通して自信をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりや自分の役割について考えをもつ。 主体的に活動し、自分に自信をもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習態度 自己肯定感や自信 学校や集団生活への安心感 よりよい人間関係の形成
興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人と親しみ、関わりを深めて愛着関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人との安定した関係の中で、友達と過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人や友達と関わりをもって遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な友達と関わりを深めるとともに、生活のきまりの大切さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と活動する中で共通の目的を見出し、協力してやりとげようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 多様な他者との協働 よりよい人間関係の形成
	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる環境で五感を豊かに育て、好きなものや自然の中での遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然と触れ合う中で、様々なことに興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然などの身近な環境に関心をもち、遊びや生活に取り入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然など様々な環境に積極的に関わり、工夫を考えたり試したりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然や身近な環境との関わりの中で感性・認識力・表現力を豊かにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 豊かな感性と思考力 関わりに気付く力 好奇心・探究心
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人との関わりを通して、発語を豊かにし、簡単な言葉を理解したり主張が出来たりする楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人や友達と生活や遊びの中で簡単な言葉のやりとりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な言葉がわかり、自分の気持ちを言葉で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や考えを言葉で表わそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や考えを言葉で表わす。 自分の思いを伝えたり、友達の話を聞いたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたいことを表現する力 よりよい人間関係の形成
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人との関わりを通して、言葉・表情・しぐさで気持ちを表現する。 生活の中で模倣したり自分なりに表現したりして、楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人や友達と遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませ、ごっこ遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な素材や用具を使い、イメージを広げながら教職員や友達とごっこ遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然や生活の中での様々な出来事を通して、友達とイメージを共有して遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝え合いを大切にしながら感じたことや考えたことを豊かに表わす。 		<ul style="list-style-type: none"> 豊かな情操や心 表したいという思いを基に工夫して表現する力

幼保小9年間の子どもの育ちと学び



小学校
児童期

生きる力

各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を通して生きる力を育成します。

確かな学力 豊かな心 健やかな体

3つの力をバランスよく育みます。

知識及び技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

これは、到達目標ではありません。この10の視点を共有し、幼児期・児童期のそれぞれに異なる子どもの育ちを見取り、保育・教育に生かしていきましょう。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| (1) 健康な心と体 | 自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせる子 |
| (2) 自立心 | 最後までやりとげようとする子 |
| (3) 協同性 | 友達と進んでかかわり合おうとする子 |
| (4) 道徳性・規範意識の芽生え | 約束やきまりを守ろうとする子 |
| (5) 社会生活との関わり | いろいろな人や家族とのかかわりを大切にしようとする子 |
| (6) 思考力の芽生え | 生活や遊びの中で考えたり気づいたりする子 |
| (7) 自然との関わり・生命尊重 | 自然とかかわり命を大切にしようとする子 |
| (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 | 生活や遊びを通して様々な事象に関心をもつ子 |
| (9) 言葉による伝え合い | 言葉による伝え合いを楽しもうとする子 |
| (10) 豊かな感性と表現 | 表現の面白さに気付き楽しく表現しようとする子 |

幼稚園
こども園
保育園

生きる力の基礎

遊びを通して3つの力を一体的に育みます。

知識及び技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう人間性等

幼児期

5領域

これらに示す「ねらい」が総合的に達成されるよう教育を行くことにより生きる力の基礎を育成します。

健康

健康な心と体・自ら健康で安全な生活をつくり出す力

人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するための自立心・人と関わる力

環境

周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力

言葉

自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度・言葉に関する感覚や言葉で表現する

表現

豊かな感性や表現する力・豊かな創造性

保育園
こども園

3つの視点

身体的発達

社会的発達

精神的発達

生命の保持・情緒の安定